

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	ベンチャービジネス概論		
英文授業科目名	Introduction to Venture Business		
開講年度	2008年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	情報工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	中嶋 信生		
居室	西6-609		

公開E-Mail	授業関連Webページ
n.nakajima@hc.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>グローバル化、情報化の進展にともない、産業は大きな変革期にある。産業系列や地域割りによる安定的な企業の棲み分けの時代は終わり、企業は世界的な競争環境の中で、世界をリードする新製品、新システムを開発し、常に新しいビジネスを企画していく力が必要となっている。このような産業環境では、大企業が必ずしも安泰ではなく、一方ベンチャー企業がやり方次第でイノベーションの担い手になる機会も増えている。すなわち、これからは企業の規模にかかわらず、起業家精神あるいはベンチャーマインドが非常に重要な時代である。</p> <p>米国では、ベンチャーマインドを持った優秀な学生が、卒業後率先してベンチャー企業に入ったり、自身で企業を起こすことでイノベーションの創出、新たな産業の創出に貢献しているが、日本では依然として大企業指向の学生が多い。</p> <p>この「ベンチャービジネス概論」は、将来自ら起業を志そうという学生のみならず、大企業への就職を考えている学生にとっても、起業家精神を涵養し、失敗を恐れず新しいことに果敢に挑戦するベンチャービジネスの重要性について、理解することを目標とする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特になし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
特になし

【授業内容とその進め方】

本講義は、(1)外部講師の講義、(2)グループ単位でビジネスプラン立案のワークショップ、(3)ビジネスプラン発表で構成する。

学生のビジネスプラン作成を支援するために、産業界OBのキャリア教育ボランティアがワークショップで指導する。

最初にビジネスアイデアを考えるヒントについて講義を行い、それに従って、全員がビジネスアイデアを考え発表する。学生は発表を聞いて参加したいビジネスアイデアを決めて投票する。この投票結果により、1グループ5名程度に分かれて、ビジネスプランを立案に取り組む。

なお、グループ編成を終えた段階で、シミュレーションソフトを使って、模擬的にビジネスプラン作成から事業活動を模擬的に体験する。

- 10月 1日(水) ガイダンス 中嶋 信生、竹内 利明
 10月 8日(水) 「ビジネスアイデアを考えるヒント」竹内 利明
 10月15日(水) ワークショップ「ビジネスアイデアを考える」
 10月22日(水) ビジネスアイデアの提案
 10月29日(水) 起業体験プログラム(1)シミュレーションソフトによる演習
 園田 雅江 氏(株) gusiness 代表取締役
 11月 5日(水) 起業体験プログラム(2)シミュレーションソフトによる演習
 園田 雅江 氏(株) gusiness 代表取締役
 11月12日(水) 起業体験プログラム(3)シミュレーションソフトによる演習
 園田 雅江 氏(株) gusiness 代表取締役
 11月19日(水) ワークショップ「ビジネスプラン」
 11月26日(水) ワークショップ「ビジネスプラン」
 12月 3日(水) 社会人講師講義 黒江 春海 氏(クロニクス(株)代表取締役)
 「ベンチャービジネスの立ち上げ」
 12月10日(水) 社会人講師講義
 安田 耕平氏((株)キャンパスクリエイイト代表取締役・客員教授)
 12月17日(水) ワークショップ「ビジネスプラン」
 1月 7日(水) 社会人講師講義 前田 隆正 氏(電気通信大学監事)
 1月14日(水) ワークショップ「ビジネスプラン」
 1月21日(水) ビジネスプランの発表
 (演題及び講師は都合で変更することがあります。)

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

成績評価法：出席・受講態度(30%)、レポート(30%)、ビジネスプラン発表(40%)を総合して評価する。

評価基準：講義を通して、以下の観点での理解度を評価する。

- ・ 起業家精神についての理解。
- ・ ビジネスプランに対する理解度
- ・ チームで仕事を推進することに対する理解度

電気通信大学 平成20年度シラバス

【オフィスアワー：授業相談】

いつでもメールでアポイントメントを取って相談にきてほしい。
産学官等連携推進本部 客員教授 竹内利明 takeuchi@crc.uec.ac.jp
<学生へのメッセージ>
J科、T科、H科以外の学生の聴講も歓迎する。

【学生へのメッセージ】

J科、T科、H科以外の学生の聴講も歓迎する。

【その他】

<履修上の注意>
・授業の出席管理に携帯電話を使います。なお、携帯電話の通信料等は、各自の負担となりますので、事前に了承のうえ履修してください。